

株式会社ウィルズ  
FY2024 決算説明資料

2025/2/14

## 通期実績ハイライト

### 連結売上高、及び営業利益は2桁成長を維持し、9期連続増収・過去最高益を更新

- ・サステナビリティソリューションが統合報告書制作の需要を背景に前期比142.0%と大幅伸長
- ・プレミアム優待倶楽部は、既存顧客の株主優待ポイント売上の増加及び新規受注により前期比122.8%
- ・結果として、前期比40.9%の広告事業の減収を吸収し、連結売上高は、113.2%と2桁成長を維持。
- ・営業利益は、連結子会社の減益及び人材採用強化による人件費増を吸収し、前期比113.2%

### 人材採用やベースアップなど、積極的な人材投資

業務拡大に伴う積極的な人材採用と体制強化により人件費が上昇するも、株主管理プラットフォーム事業の大幅伸長により、単独営業利益は期初計画比115.4%を達成。連結営業利益は、連結子会社の減益を含み、前期比113.2%の着地

### 2025年12月期業績予想

連結売上高は前期比110.0%の5,580百万円、単独売上高は前期比110.5%の5,324百万円を計画  
連結営業利益は前期比111.6%の1,155百万円、単独営業利益は前期比110.0%の1,270百万円を計画

## 決算の概況

連結売上高は、5,072百万円（前期比113.2%、計画比101.4%）で着地し、9期連続増収  
 連結営業利益は、1,035百万円（前期比113.2%、計画比102.9%）と過去最高益を更新  
 親会社株主に帰属する当期純利益は、670百万円（前期比132.4%、計画比100.3%）

	FY2023	FY2024	FY2024	前期比		計画比	
	通期実績	計画	通期実績	金額	%	金額	%
単位：百万円							
売上高	4,480	5,000	<b>5,072</b>	592	113.2	72	101.4
売上総利益	2,087	2,278	<b>2,465</b>	378	118.1	187	108.2
営業利益	914	1,006	<b>1,035</b>	121	113.2	29	102.9
（営業利益率）	20.4%	20.1%	<b>20.4%</b>	—	—	—	—
経常利益	911	1,002	<b>1,040</b>	129	114.2	38	103.8
親会社株主に帰属する当期純利益	506	668	<b>670</b>	164	132.4	2	100.3
EPS（円）	24.39	32.29	<b>32.45</b>	8.06	133.0	0.16	100.5

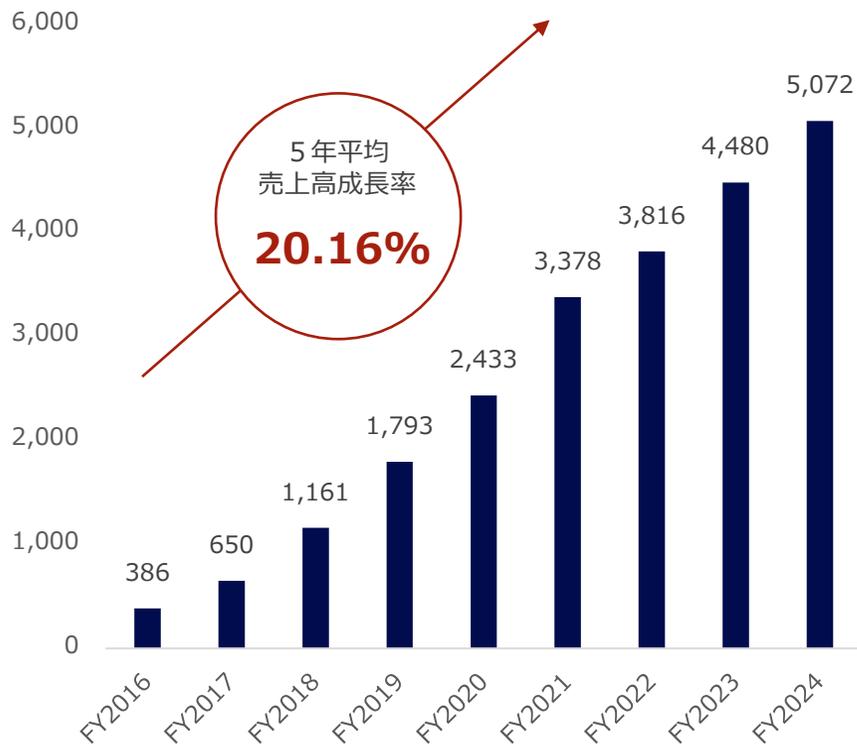
## 売上高及び営業利益の推移

連結売上高の5年平均売上高成長率は20.16%、9期連続増収

連結営業利益も、連結子会社の減益及び人材採用強化による人件費増を吸収、2桁成長を維持し、8期連続で最高益を更新

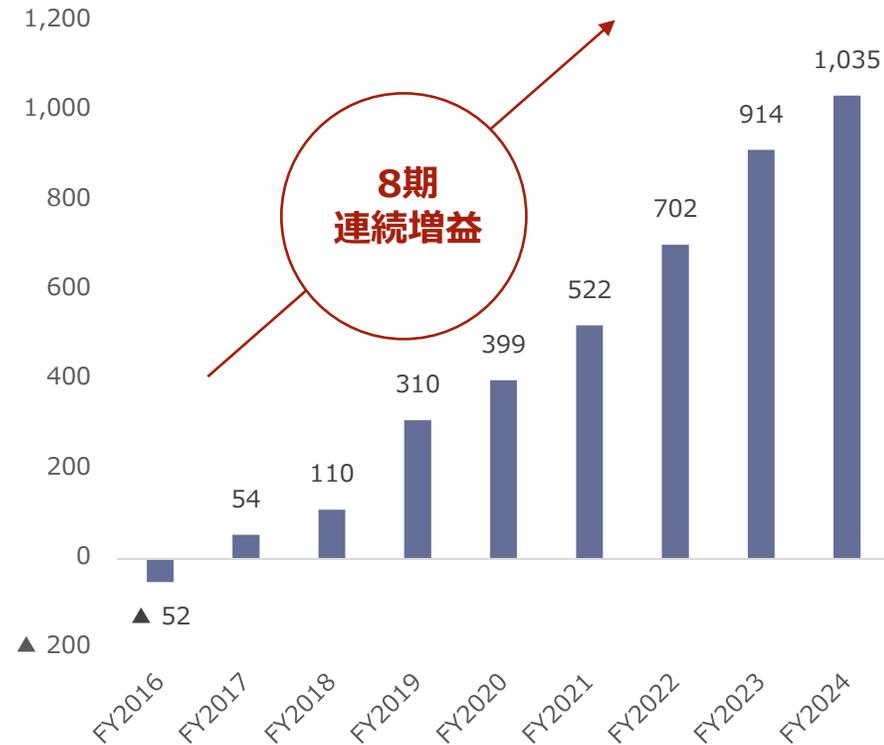
連結売上高推移

(単位：百万円)



連結営業利益推移

(単位：百万円)



(注1) 2020年12月期第4四半期より株式会社ネットマイルの完全子会社化により、連結決算に移行しております。

# 四半期別売上高推移（単独）

プレミアム優待倶楽部は、前期末から6社純増し、前期比122.8%と成長。  
 サステナビリティソリューションは、TCFD/TNFDなどを背景に需要旺盛、前期比142.0%と大幅に成長

(単位：百万円)

1,600  
1,400  
1,200  
1,000  
800  
600  
400  
200  
0

- プレミアム優待倶楽部
- IR-navi
- サステナビリティソリューション
- その他

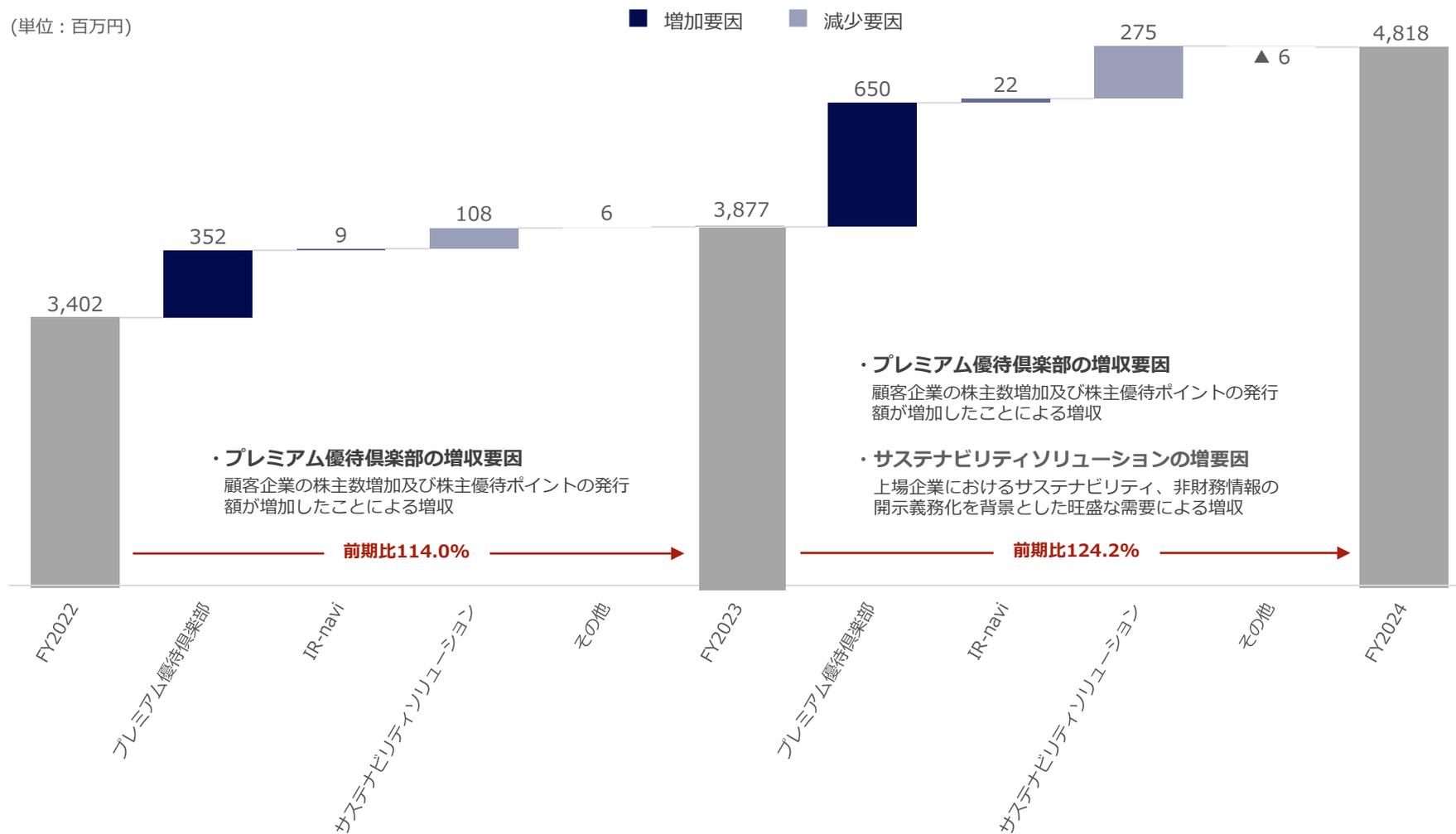
2023.12.31  
→2024.12.31  
**+6社**  
(純増)

前期比122.8%

	FY2019				FY2020				FY2021				FY2022				FY2023				FY2024			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q																
■ その他	4	7	2	6	4	9	9	14	10	44	11	14	12	46	8	10	10	43	12	15	9	41	10	13
■ サステナビリティソリューション	32	45	126	82	43	44	176	80	69	40	209	102	55	46	203	242	79	32	263	280	104	54	282	490
■ IR-navi	49	93	52	64	61	100	56	64	62	104	52	66	59	101	50	62	61	99	55	67	68	102	60	76
■ プレミアム優待倶楽部	215	272	273	463	337	404	366	427	322	593	496	433	392	819	766	525	504	925	772	652	572	1,062	1,064	805

# 売上高増減分析（単独）

プレミアム優待倶楽部は、顧客当たりの販売単価の上昇により増収。サステナビリティソリューションは、大企業を中心に統合報告書の制作案件の引き合いが旺盛で大幅伸長。売上高は前期比124.2%、計画比110.4%の増収



## セグメント別実績の概況

内部取引控除後のプレミアム優待倶楽部の売上高は、顧客当たりの販売単価の上昇により前期比122.8%、サステナビリティソリューションの売上高は、サステナビリティ情報開示の制度化、投資家との対話の高度化等に伴い、大企業を中心に統合報告書始めとした各種レポート案件の引き合いが旺盛で、前期比142.0%となった。一方、検索エンジンのアルゴリズム変更の影響が長期化し、Web検索からのアクセスが減少したことやインフルエンサー売上高の減少により、広告事業は前期比40.9%と減収

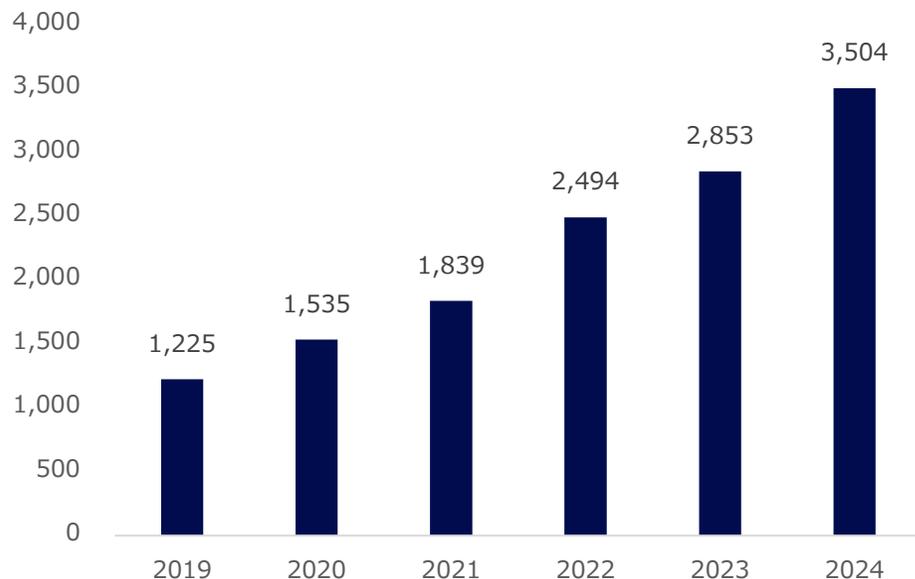
単位：百万円	2023年12月期	2024年12月期	前期比	
	通期	通期	額	%
連結売上高	4,480	5,072	591	113.2
株主管理PF事業	3,877	4,819	941	124.3
プレミアム優待倶楽部	2,853	3,504	650	122.8
IR-navi	284	307	22	108.1
サステナビリティソリューション	656	931	275	142.0
その他	83	75	▲ 7	91.0
広告事業	642	262	▲ 380	40.9
自社媒体Web広告	493	113	▲ 380	23.0
Web広告代理店及びアドバタイジングゲーム	145	147	2	101.5
その他	4	1	▲ 2	44.8
営業利益	914	1,035	120	113.2

## プレミアム優待倶楽部の概況

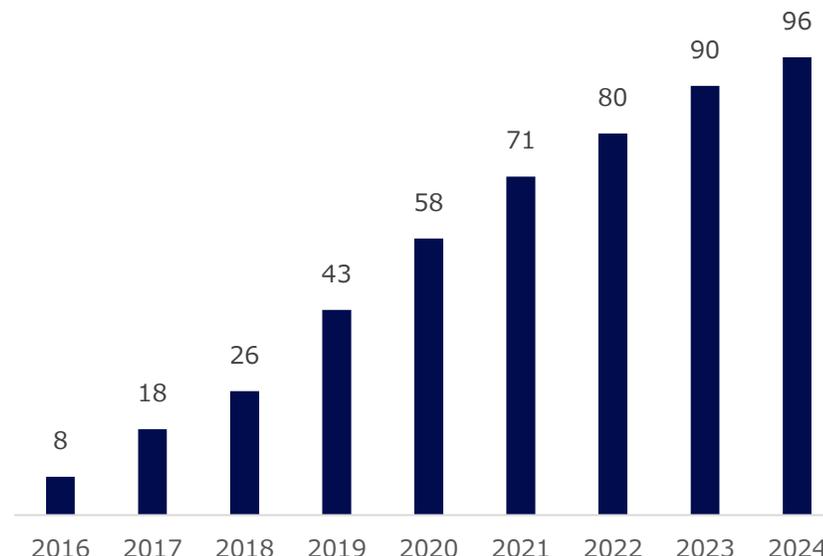
業績懸念先企業やTOB等による上場廃止に伴う解約があり、純増企業数の拡大ペースは鈍化したものの、プレミアム優待倶楽部の契約社数は前期末から6社純増の96社に拡大。売上高は、既存顧客のポイントの増加及び新規受注により前期比122.8%。大企業を中心とした株主管理DX、株式流動性の向上を目指す企業への営業活動強化により顧客基盤の強化を図る。

売上高推移グラフ

(単位：百万円)



契約社推移グラフ



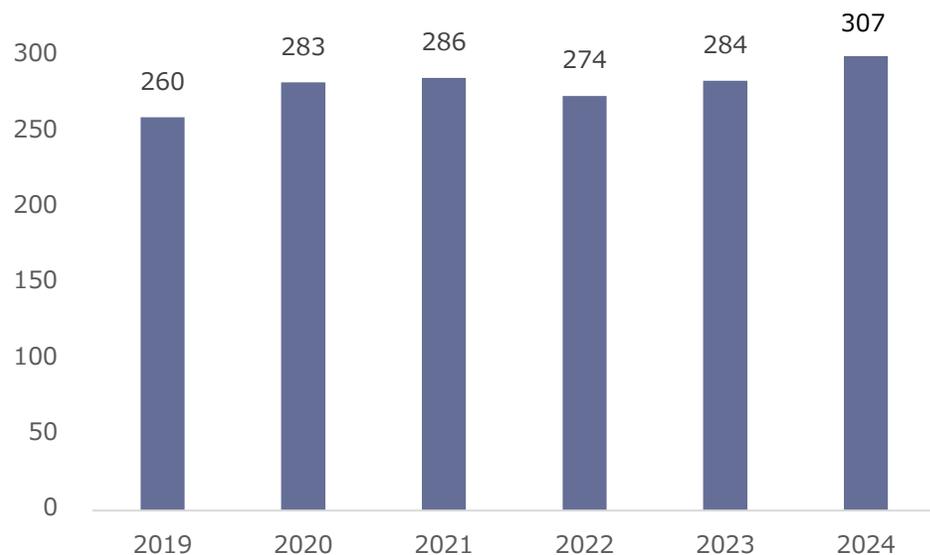
(注) プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。その為、新設、廃止を含めた適時開示済みの顧客数とは異なる場合があります。

# IR-naviの概況

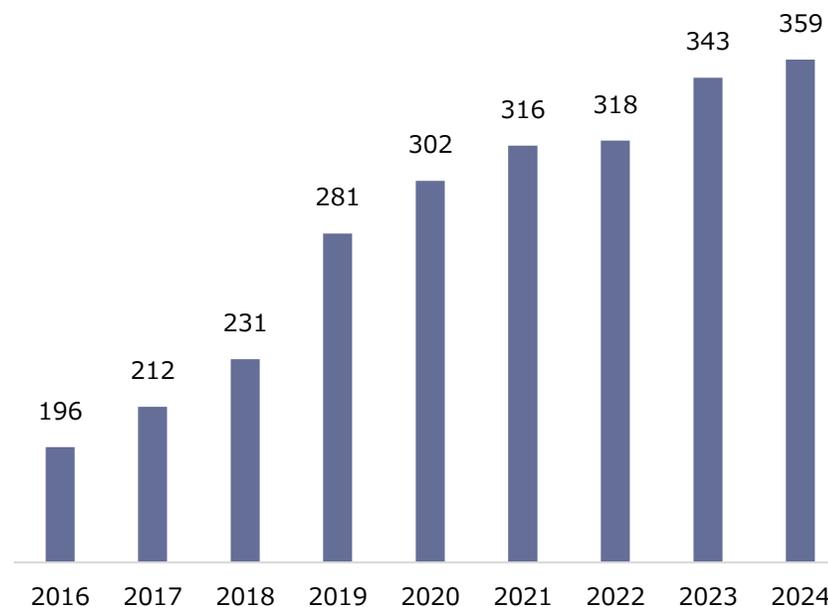
IR-naviの顧客数は、IR-navi単体の顧客数が増加したこと、プレミアム優待倶楽部導入企業も増加したことにより、前期末から16社増加し359社

売上高推移グラフ

(単位：百万円)



契約社推移グラフ



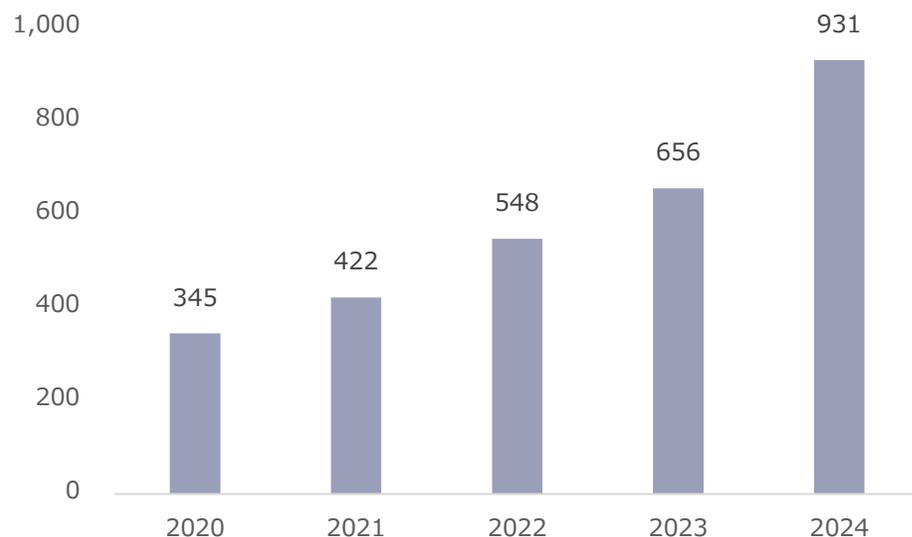
(注) IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。  
IR-navi単体の顧客数は、263社です。

## サステナビリティソリューションの概況

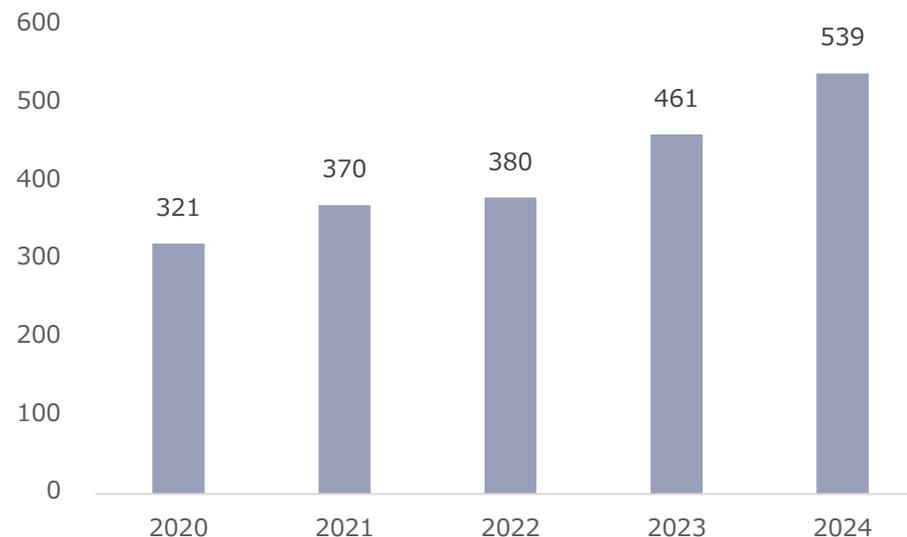
サステナビリティ情報開示の制度化、投資家との対話の高度化等に伴い、大企業を中心に統合報告書始めとした各種レポート案件の引き合いが旺盛で、プロジェクト数は539件と前期比116.9%。売上高はプロジェクト数の増加及び顧客単価の増加により前期比142.0%

### 売上高推移グラフ

(単位：百万円)

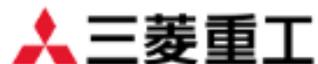


### プロジェクト数推移グラフ



(注) 一企業当たりで複数のプロジェクトが進行するため、プロジェクト数を記載しております。

# サステナビリティソリューション事業での制作支援実績



## 連結貸借対照表

	FY2023	FY2024	前期末との差額	主な要因
(金額単位：百万円)				
流動資産	2,795	<b>3,330</b>	<b>535</b>	—
現金及び預金	2,412	<b>2,885</b>	<b>472</b>	親会社株主に帰属する当期純利益の増加
受取手形、売掛金及び契約資産	303	<b>378</b>	<b>74</b>	売上増加による債権の増加
有形固定資産	48	<b>49</b>	<b>1</b>	—
無形固定資産	581	<b>666</b>	<b>85</b>	システム開発ソフトウェア等取得及び償却、のれん償却
資産合計	3,662	<b>4,264</b>	<b>601</b>	—
流動負債	1,769	<b>2,099</b>	<b>329</b>	短期借入金の増加
買掛金	333	<b>414</b>	<b>80</b>	仕入増加による債務の増加
短期借入金	266	<b>324</b>	<b>57</b>	—
1年以内返済長期借入金	23	<b>14</b>	<b>▲ 8</b>	—
未払法人税等	170	<b>210</b>	<b>39</b>	未払法人税支払
契約負債	634	<b>780</b>	<b>145</b>	システム売上にかかる契約負債、株主優待ポイント申込による増加
固定負債	39	<b>24</b>	<b>▲ 14</b>	—
株主資本	1,850	<b>2,130</b>	<b>279</b>	利益剰余金の増加、配当金支払、他
負債・純資産合計	3,662	<b>4,264</b>	<b>601</b>	—

# 連結キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)	FY2023 (連結)	FY2024 (連結)	備考
営業活動によるキャッシュフロー	947	1,071	税金等調整前当期純利益（272）、減価償却費（△3）、のれん償却額（0）、貸倒引当金の増減額（1）、ポイント引当金の増加額（△は減少）（△2）、株主優待引当金の増加額（△は減少）（△7）、賞与引当金の増加額（6）、役員賞与引当金の増加額（△は減少）（△1）、受取利息及び受取配当金（△7）、支払利息（0）、固定資産除却損（△は益）（△3）、売上債権の増減額（△は増加）（△30）、棚卸資産の増減額（△は増加）（29）、仕入債務の増減額（△は減少）（23）、未払金の増減額（△は減少）（△10）、契約負債の増減額（△は減少）（△29）、未払消費税等の増減額（△は減少）（△18）、その他（24）、利息及び配当金の受取額（7）、利息の支払額（0）、法人税等の支払額（17）
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,246	753	定期預金の預入による支出（1,000）、定期預金の払戻による収入（1,000）、投資有価証券の取得による支出（30）、有形固定資産の取得による支出（32）、無形固定資産の取得による支出（△9）、敷金及び保証金の回収による収入（△14）、会員権の取得による支出（△24）
フリーキャッシュフロー	▲ 298	1,824	—
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 354	▲ 355	短期借入金の純増減（△は減少）（67）、長期借入金の返済による支出（1）、自己株式の取得による支出（△53）、配当金の支払額（△18）
現金及び現金同等物の増減額	▲ 652	1,469	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,065	1,412	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412	2,885	—

## FY2025通期業績見通し

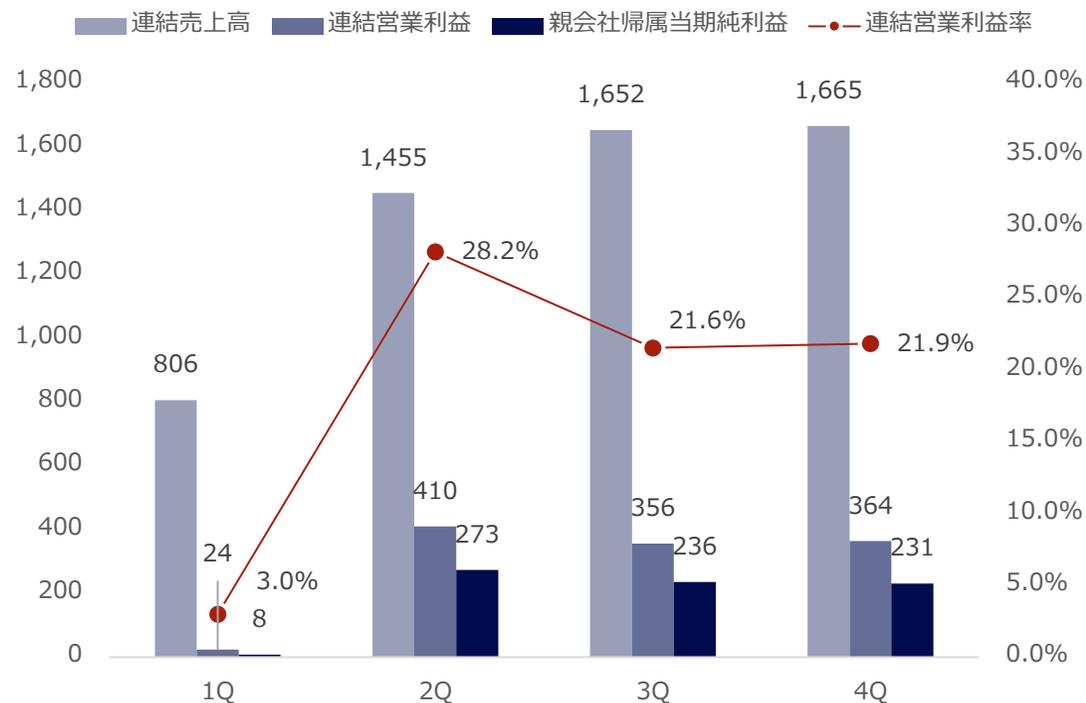
連結売上高は前期比110.0%の5,580百万円、単独売上高は前期比110.5%の5,324百万円を計画  
 連結営業利益は前期比111.6%の1,155百万円、単独営業利益は前期比110.0%の1,270百万円を計画

(金額単位：百万円)	FY2024 (実績)		FY2025(計画)		増減率		主な要因
	単独	連結	単独	連結	単独	連結	
売上高	4,818	5,072	<b>5,324</b>	<b>5,580</b>	10.5%	10.0%	・プレミアム優待倶楽部、サステナビリティソリューションの伸長による売上高増加 ・広告代理店事業を中核とするネットマイルの売上高増加
売上原価	2,495	2,606	<b>2,884</b>	<b>2,996</b>	15.5%	14.9%	・プレミアム優待倶楽部、サステナビリティソリューション売上高増加に伴う制作原価の増加 ・ネットマイルの受託関連事業、ドメイン運用広告事業に係る原価の増加
売上総利益	2,322	2,465	<b>2,440</b>	<b>2,584</b>	5.0%	4.8%	—
販売費及び一般管理費	1,168	1,429	<b>1,170</b>	<b>1,429</b>	0.1%	-0.1%	人件費、広告宣伝費の増加
営業利益	1,154	1,035	<b>1,270</b>	<b>1,155</b>	10.0%	11.6%	—
(営業利益率)	23.9%	20.4%	<b>23.8%</b>	<b>20.7%</b>	-0.1PT	0.3PT	—
経常利益	1,132	1,040	<b>1,271</b>	<b>1,150</b>	12.1%	10.6%	—
親会社帰属当期純利益	669	685	<b>842</b>	<b>750</b>	25.8%	9.4%	—

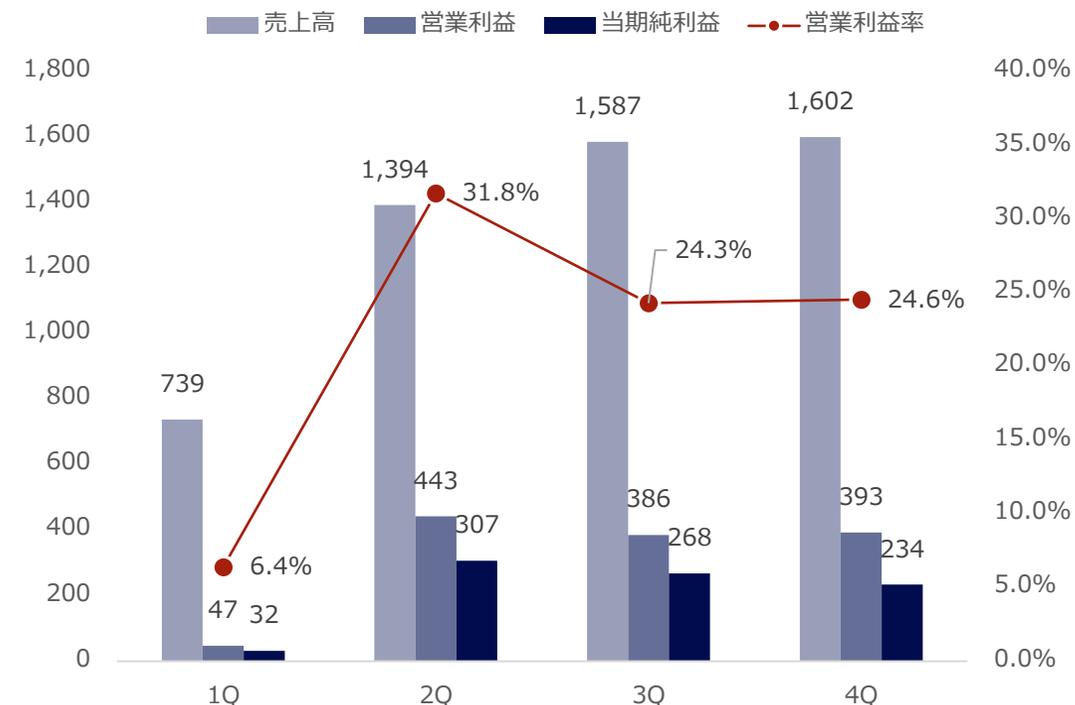
## FY2025通期業績見通し

下期にかけて、プレミアム優待倶楽部のポイント売上、及び新規売上が積み上がるトレンドを継続。連結、及び単独の通期営業利益率は、ともに中長期KPIの20%を超える水準となる見通し。

四半期業績見通し（連結）



四半期業績見通し（単独）



# ディスクレーム:本資料の取り扱いについて

---

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

